

久寺家地区令和 6 年度 第 2 回地域会議議事録(要旨)

【1】開催日時：令和 6 年 10 月 6 日（日） 9：30～11：30

【2】開催場所：久寺家近隣センター 多目的ホール

【3】出席者：12 団体 21 名

久寺家地区まちづくり協議会（5 名）、久寺家自治会、久寺家三菱自治会、久寺家 2 丁目自治会、久寺家マンション自治会、久寺家地区子ども会代表（2 名）、久寺家地区民生・児童委員（2 名）、北地区社会福祉協議会、社会福祉法人栄興会つくし野荘、みんなの広場「風」、久寺家よりみちサロン「風」（兼：きらめきサロン、いきいきクラブ）、久寺家生活お助け隊、地域会議事務局（3 名）

【4】議事要旨（主な報告と意見の要点を記載）

1. 「だれもが住みたい、住み続けたい地域づくり」

事務局より本年度に本テーマを取り上げた背景、昨年来の議論の概要などについて説明の後の議事に入った。

（1） 民生委員の取り組みについて

民生・児童委員より資料配布の上、活動の内容、取り組み状況、活動推進のための留意事項などの報告があり、その後意見交換を行った。

- ・委員の仕事は、生活困窮、高齢化、子供の諸問題など福祉全般にわたる。
- ・把握した情報はなんでも相談室など専門の団体につないでいる。
- ・委員は地区担当制だが知らない住民が多いのが実情、また土谷津地区委員が欠員。
- ・委員からの働きかけを好まない方がいるので、情報を把握してから動くようにしている。
- ・当地区ではよりみちサロン風が高齢者の見守りや、交流の場としての大きな役割を担っている。
- ・自治会との連携は、久寺家自治会役員会には毎年出席だが、他は決まったものはない。
- ・民生委員の仕事の理解と情報の提供などのために、今後自治会他団体との接点拡大は課題。
- ・関連する情報があれば、その地域担当委員にぜひ連絡して、活動に協力、利用してほしい。

（2） まち協（地域交流委員会）の取り組みについて

まち協総務部長より、設立以来の近隣センターの経緯と高齢化に伴う担い手の減少などの現状、およびそれらを考慮して新たな施策として進めている地域交流委員会の趣旨、活動内容などが、資料にもとづいて説明された。その後、子供会代表から今年度の取り組みと次年度以降の改善点について資料により報告があった。

・久寺家近隣センターは、地域住民が気軽に低費用で利用できる場所として開設、来年 25 周年を迎える。

- ・市の地域コミュニティ活性化施策の支援を受けて、3大祭りを軸として活動してきた。
- ・近年高齢化による担い手不足やコロナ渦の影響が重なり従来の形での運用が難しくなったので活動内容を見直し、新設地域活動推進委員会が調整役となり、こども夏祭り、歌う会等イベント毎に実行グループが運営を担当する体制を進めている。
- ・子ども会では、来年度に運営効率化と負担軽減のため、こども映画会は中止、ラジオ体操会場をあけぼの公園に一本化、体操のご褒美を簡単な方法に改める改善を進める。

2.地域諸団体による報告事項

- (久寺家自治会) 自主防災組織への市の助成金交付の通知があり進める。
- (久寺家三菱自治会) ごみネットを設置手間のかからない2丁目タイプを導入検討。
- (久寺家2丁目自治会) 定例役員会開催回数の削減とLINEで代替、世帯情報シート今年は問題なく終了、自主防災組織図作成、環境整備関連報告など。
- (久寺家マンション自治会) 9月の広域停電時に電力会社への問い合わせに時間がかかった、防犯カメラ設置完了。
- (つくし野荘) 災害時避難体制を整備している。合同防災訓練は人員の関係で今回不参加。
- (みんなの広場風) らっきょう収穫ボランティアに感謝、グループホーム4名在所運営中。
- (北地区社協) 11/3~5日開催の文化祭にバザー品の提供希望、市社協では移動販売3社のルート調整担当、小中高生向けにボランティアプログラム推進。
- (よりみちサロン風) 11月に認知症サポーター講習会を予定。
- (久寺家生活お助け隊) 運転手不足か最近タクシーが呼びにくくなっている。お助け隊員も高齢化しており、移動のニーズに対応しかねる事態になってきている。

3.その他の事項

- (1) あびバス小委員会経過報告
事務局資料により、小委員会の経過及び8月末時点の新ルート案に関する説明があった。今後市役所内の承認及び許認可手続きを経て、来春切り替えの方向で進んでいる。
- (2) 今年度久寺家地区6自治会合同防災訓練について
6自治会協議会事務局より、11月10日開催の合同防災訓練の概要の説明があった。
- (3) 地域活動費の支出状況について
事務局より実績ゼロとの報告があった。

以上